

Q. 日本語では共に「持つ」と訳せる가지다と들다、どう違うの？

(執筆者：奎星)

가지다も들다も、韓日辞典などを引くと、共に「持つ」という対訳が載っています。実際次の例文を見ると、2つとも「持つ」と訳せるので、この2つを同じものとして誤解してしまいそうです。

가방을 {가지고 / 들고} 갑니다. カバンを持って行きます。

しかしながら、この2つは似たような場面で使え、日本語ではたまたま「持つ」という対訳が対応するだけで、同じ意味を表すわけではありません。2つの意味を簡単にまとめると次のようになります。

가지다	物を所持していたり所有している
들다	物を物理的に手に持っていたり、持ち上げたりする

このような違いがあるため、2つのうちいずれかしか使えない場合が多々あります。

(「*印」は、その語は使えないということを表します。)

イ) お金少し持ってます? 돈 좀 { 가지고 / *들고 } 있어요?

ロ) 若い時から自分の家を持っています. 젊었을 때부터 자기 집을 { 가지고 / *들고 } 있어요.

ハ) あきらめずに希望を持って下さい. 포기하지 말고 희망을 { 가지세요 / *드세요}.

ニ) いつからその人と関係を持っているんですか?

언제부터 그 사람과 관계를 { 가지고 / *들고 } 있어요?

가지다は「物理的に手に持っている」かどうかではなく、「所持・所有している」ことを表すので、上の例文イ) やロ) のように、「所持・所有」について言う場合には、가지다だけが使えます。

また가지다は、「所持・所有している」ことを表す事から、物理的な物ではなく、ハ) の希望(「心に抱く」意味での「持つ」) やニ) の関係(「結ぶ、保つ」意味での「持つ」) などにも使います。

次に、들다だけが使える例を見てみましょう。

ホ) 荷物が重いですね。一緒に持って下さい。 짐이 무겁네요. 같이 좀 { 들어 / *가져 } 주세요.

へ)聞きたい事があれば手を挙げて下さい。 물어 볼 것이 있으면 손을 { 드세요 / *가지세요}.

들다는「所持・所有している」ことを表すのではなく、「物理的に手に持っている」かどうかを言っているので、ホ)の例のように「抱える」意味での「持つ」の意味では들다を用います。

また들다는、「持ち上げる」という意味も表すので、へ)の例のように「掲げる・挙げる」という意味でも들다を用います。

가지다と들다にはこのような意味の違いがあるため、一見同じことを述べているような場合でも、それが伝えるニュアンスは互いに異なります。

ト) 뭘 { 가지고 / 들고 } 왔어요?

ト)のような例で가지고を用いると、単に持って来たものが何かを聞いており、その「何か」を目に見えるところに持っているかどうかは関係ありません。一方、들고는、相手が何かを持っているのを見て、それが何かを聞くような場合に用います。仮に、相手が何かを持っているのを見ていない場合に들고を用いると、日本語で考えた場合、「何を持って来たのですか?」というより、「何を抱えて来たのですか?」と聞いているような感じになります。